



令和5年新規採用職員集合！（6月27日(火) 新規採用職員へのフォローアップ研修にて撮影）

Topics

P.2,3

施設長からのごあいさつ

P.4,5,6

特集 **KSJ** 福祉人材育成 キャリア形成

職員インタビュー

～多様な施設への人事異動を通じて～
キャリア形成の第一歩！

新規採用職員の日
新規採用職員の声を紹介

P.7

数字で見る**KSJ** (R4年度事業報告・決算)

P.8

入所・利用方法の違い まとめてみた！

KSJ 掲示板

理事長ごあいさつ

「ふれあい」の創刊は1988年のこと。

以来35年間にわたり事業団や職員の活動の情報を発信してまいりましたが、遂に本号で99号目を迎えました。

本号の号数「九十九(99)」は「つくも」とも読みますが、これは「次百(つぐもも)」の転訛したものと言われ、「九十九」は「次が百」すなわち「百(完全、完璧)を目指す姿勢」を表すものとも言われています。

現状に満足することなく、常に百点(目標)を目指し職員一同努力していく「九十九」の姿勢で、令和5年度も事業団は前を向いて進んでまいります。

理事長 中本 晴夫



施設長からのごあいさつ

令和5年度は、2021年からスタートした「中期運営計画」の中間年にあたる年です。引き続き、安心・安全の確保に努め、新たな取り組みにも積極的にチャレンジすることで、利用者満足度の向上をめざして、法人全体で取り組むことといたします。

地域の企業や学校、他法人など多様な機関とのつながりを大切にしながら、法人内外での連携による新しい取り組みを生み出していければと考えており、これまで以上に、地域における公益的な取り組みの推進や、京都府の福祉施策・事業との協働を図っていくよう取り組んでまいります。

運営する各施設の施設長から、リーダーとしての意気込みを込めて、ごあいさつ申し上げます。

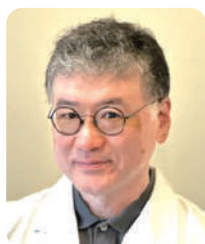
心身障害者福祉センター



副所長
中西 文章

転入者や今春入職された方もお迎えし令和5年度が動き出しています。私たちの心身障害者福祉センターは、障害者支援施設・病院・体育館が併設しあう施設で開設されてまもなく半世紀を迎えます。多様な福祉・医療施設を総合的に管理運営する事業団の中でも特色ある存在で、将来に向けその強みを更に増したいと考えています。今、いわゆる「2025年問題」など様々な課題への対応が必要になっています。折しも今年度は、中期運営計画の中間年でもありますが、加えて、より中・長期の視点で担うべき機能や役割を現地現場の立場から提案していく大切なステージに立っていると思います。

私たちの施設は多職種の人材で成り立っています。1人1人の知恵とアクションが総和していくためにも、「ひと」や組織間の疎通性を高め、施設・関係者間の連携強化による広がりへと発展させ、地域の健康・福祉の増進に貢献することを目指して1日1日を大切にしていきたいと考えています。



附属リハビリテーション病院
院長
徳永 大作

いま、心障センターとリハビリテーション病院は設立以来の大きな変革期を迎えています。医療、介護、福祉が一体となって、患者さんに一環したサポートを提供できるシステム作りが重要です。当院は小規模な病院ではありますが、メディカルスタッフがチームとなって、患者本位のテーラーメイド医療を機動的に行うことができるのが誇りです。この強みをさらに発展させ、地域のみならず、府立医大と直結し、府内への情報発信とリハビリテーション医療の教育施設として発展してゆくことを目標に掲げ、実現します。また、隣接するサン・アビリティーズ城陽に設置された、パラ・パワーリフティング競技のNTCをはじめとするパラスポーツへの医学的支援を含め、特徴ある病院として、存在感を増していきたいと思っています。



障害者支援施設
施設長
則枝 勝也

最近こんな言葉を見つけました。“「大変」な時は「大」きく「変」わる時”…新しい職場に異動する度に、大変なことが起こる、起こっています。しかし、それを機会に様々なことが良い方に大きく変わっていったのも事実。現状維持では何も変わらない、むしろ現状より悪くなる。常に「もっといい支援はないか」の視点で、現場を大きく変えていくことはとても大切であり一朝一夕には行かない大変なこと。

試行錯誤し、自分自身もアップデートしながら、利用者・職員共に笑顔溢れる「あしはらの丘」へ成長していきたいと思っています。

洛南寮



寮長
岡本 稔子

事業団に入職して初めての職場が救護施設でしたが、思わぬ異動で21年ぶりに帰ってきました。利用者さんの中に知ったお顔は10人ほどおられましたが、毎日のように入所問合わせがあり、毎月何人も入退所がある救護施設へと様変わりしていて、本来のセーフティネットの役割を果たしていると感動しました。また、本来養護老人ホーム対象の方が救護施設に入所され、21年前の養護老人ホームにはおられなかったような介護度の高い方の介助に追われる等、社会情勢の厳しさも実感し、解決に向け動き始めたところです。洛南寮を離れた後は、心障センター、東山母子生活支援施設で働いていましたが、事業団には京都府のセーフティネットが集まっていると、改めて感じています。

微力ですが、これからの事業団をつくる皆さんが、働き甲斐をもてる施設にしていきたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。

東山母子生活支援施設



施設長
宮崎 佳子

DV被害だけでなく精神障害を抱える母や若年母、特定妊婦の受入ニーズが高まっている中、東山母子生活支援施設でも様々な課題を抱えた母子を積極的に受入れ、現在18世帯42名の母子が生活されています。令和5年度は退所世帯に向けたアフターケアの充実のため、新たに自立支援担当職員を専任で配置しました。入所中の世帯に対しても退所に向けた住居設定、関係機関への連絡・同行や就労支援、お子さんの進路相談等を行い、退所後の生活がスムーズに開始できるよう支援をしていきます。また、退所後は転居先への訪問や電話・LINEにより近況把握をおこない、施設とのつながりを継続することで安心して生活していただける環境づくりをしていきます。

視力障害者福祉センター



所長
松本 勅

視覚障害者の社会参加と地域に開かれた施設を目指して視覚に障害のある方々が、医療人の一員となって自立するためにあん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家資格の取得を目指して学ぶ場であり、900名を超える卒業生を送り出してきました。学習だけでなく、臨床実習における外来治療やあん摩奉仕により地域住民の方の健康維持・増進への貢献も図っており、地域に開かれた施設を目指しています。本年度も安心・安全な施設利用を心掛け、教育の一層の充実に努めますとともに、資格獲得に関心のある方対象の2回の体験見学会の開催や積極的な広報活動で利用者増を図ってまいります。

桃山学園



園長
畑段 隆浩

新たに園長に就任し、桃山学園の長い歴史をしっかりと受け継ぎ、子ども達の笑顔溢れる施設にしたいと、決意を新たにしているところです。

本年度の学園の大きなテーマである障害児入所施設の「小規模グループケアの完成」「入所児童への心理支援の強化」、児童養護施設での「あたりまえの生活体験事業の施設外展開」「退所前後の自立に向けた支援の強化」に向けて職員と意見を出し合い、全力で取り組んでいきます。

また、6名の新規採用職員をはじめ経験の浅い職員が多いことから、研修の受講や先進地視察など、職員のスキルアップの機会を増やし、職員がやりがいのある働きやすい職場づくりに力を入れていきたいと思っております。

こども発達支援センター



所長
平井 清

普段の療育、地域支援、診療の仕事の充実を図ることはもちろんのこと、来年度は改正児童福祉法の施行に伴い児童発達支援センターの在り方が示されることへの準備、また京都府の総合リハビリテーション支援拠点施設整備に関連して障害児・者の分野で当センターが担う役割を検討することは重要な課題です。いずれにおいても京都府や本部と情報共有しながら、当センターの現場の意見や力をうまく活かせるようにしたいと思います。課題は大きいですが、当センターの若い力が十分に発揮され、伸びる機会になることを期待しています。

発達障害者支援センター



センター長
渡邊 由佳

はばたき・こども相談室では発達障害児者支援の中核機関として、発達障害のある方やご家族への相談支援を柱に、発達障害のある方が地域の中で安心してより豊かに生活できるように関係機関と連携して支援に努めております。また、府民や支援者を対象にした講演会や研修の実施など、発達障害に関する専門性をもって発達障害児者支援の普及・啓発に努めております。

今年度は、今後の発達障害児者支援のさらなる展開に向け、圏域にある支援センターのバックアップを行い地域に根差した支援体制整備を進めてまいります。また、発達障害児者支援の中核機関として専門性をもって支援者・専門職への研修を実施するなどさらなる支援体制の充実に努めてまいります。



職員インタビュー ～多様な施設への人事異動を通じて～

複雑多岐にわたる課題への対応力向上をめざし、従来から行っていた人事異動を、令和5年度からは人材育成の柱の1つとして位置付けました。新規採用後の一定期間を初期キャリア形成期間と位置付けて、複数施設を経験することで、総合職員としてのキャリア形成を図るとともに、その後も、職員の適性やキャリアデザインを踏まえた人材育成を行っていくこととします。

複数の施設・業務を経験して、活躍する若手職員からベテラン職員まで、計6名にキャリア形成についてインタビューしました！

Q1

これまでの施設の経験が活かしたエピソードはありますか？

異動前にいた心身障害者福祉センターより、今の洛南寮救護課の利用者さんの自立度は高いとはいえ、中には介助の必要な方もいらっしゃいます。心身障害者福祉センターで学んだオムツやパッドの装着方法や車椅子からベッドへの移乗、衣類の着脱など介助の基礎は今の職場でも活かしていると思います。また、利用者さんとの関わり方などもこれまでの経験が活かしていると思います。先日、同僚職員に介助のことで褒めてもらえることがあり、前職場での経験が活かしているなと思い嬉しかったです。

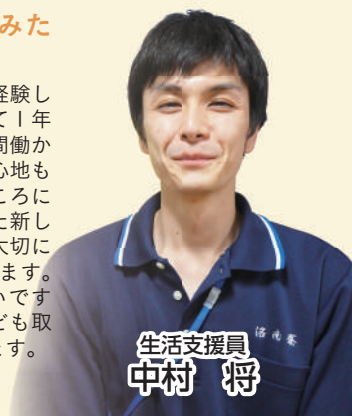
●心身障害者福祉センター ➡ ●洛南寮(救護施設)

Q2

これから先のビジョン・やってみたいことはありますか？

私は児童、障害、高齢とすべての分野を経験してみたくて事業団に入職しました。そして1年目に配属された障害者分野の施設で5年間働かせてもらいました。働いているうちに居心地もよく、異動したくないなと思っていたところに6年目で洛南寮に異動になりました。また新しい気持ちで初心にもどり今できる経験を大切にしながら日々成長していけたらなと思います。体力のあるうちに児童分野も経験したいですし、ゆくゆくは精神保健福祉士の資格なども取りキャリアアップしていけたらなと思います。

(現在：洛南寮救護施設)



生活支援員
中村 将

(現在：洛南寮養護老人ホーム)

Q1

人事異動を経験してどのような力がついたと思いますか？

元々新しい物事に挑戦することが苦手で物事を諦めることも早い私でしたが、異動により新しい職場、仕事に対して「とりあえずやってみよう」と継続して働くことができています。児童、高齢と分野が異なる現場を通して、楽しいことや大変なこと含め様々な経験をしたことで、例えばトラブル時の場面においても入職当初より落ち着いて対応できる力がついており、異動による経験が自然と自信に繋がっているのだと思います。また、異動先で出会った事業団の素敵な上司や先輩方、同僚との繋がりは自身の強みにもなっています。

●洛南寮(救護施設) ➡ ●東山母子生活支援施設 ➡ ●洛南寮(養護老人ホーム)



生活支援員
藪中 沙也

Q2

異動の大変さやむずかしさについて教えてください！

異動で一番大変なことは、やはり自分自身を取り巻く環境が変わることだと思います。異動に伴って、新しい職場での業務や人間関係、自身の生活が変化するため、新しい環境への適応力が求められるような気がします。また、以前の配属先であった施設への異動の場合、「以前いたからこれくらいできるだろうと周囲から捉えられるかも」という自身へのプレッシャーを抱えることもあります。しかし、無理しすぎずこれまでの経験を現場で活かしつつ、自分のペースで働くことが大事だと思います。

Q1

配属先が変わり、新しい業務をどのように覚えていきましたか？

元々、動くことが好きということもあり、“聞く・見る”だけではなく、“使ってみる・その場まで行ってみる”等、動作として経験することを大切にしていましたので、まずは、「動く!」ことから始めました。また、間違っていること・忘れていたことは指摘してもらい覚え直すこと、そしてわからないことをそのままにはしないように努めています。それ以外には、実際に業務を行う中で、同じ事でも職場によって方法や手順が違うことがあるので、“この方法で良いのか”という確認も必要だなと感じています。

●こども発達支援センター ➡ ●東山母子生活支援施設

Q2

異動の大変さやむずかしさについて教えてください！

児童福祉分野間での異動でしたが、経験を活かせることばかりではなく、むしろ知らないことの方が多く状況です。利用者の方の背景や課題となる部分が違えば、必要な知識も違い、勉強しなければ…と感じている最中です。また、今回異動と合わせて昇任したので、職場の中でも様々な役割を担いつつ、日々の業務を行わなければならないのですが、正直まだそこまでの余裕は持っていません。周りに支えていただきながら、まずは現在の職場の担う役割や意味等への理解を深め、その上で自分自身に任された仕事に向き合えるよう頑張りたいと思っています。

(現在：東山母子生活支援施設)



主任 母子支援員
西村 朋

Q1
配属先が変わり、新しい業務をどのように覚えていきましたか？

最初の異動先である心身障害者福祉センターでは、異動前にセンター出身の先輩職員に助言を頂き、さらに異動後、先輩職員が同じ勤務形態で付いてくださったので、そうした中で助言や指導を受けて業務を覚えていきました。また先輩職員だけでなく、若手職員からも教わることは多くありました。「職歴では僕が上でも心身障害者福祉センターでは僕が後輩」という気持ちは常に持ち続けていました。(これに関しては東山母子生活支援施設でも同様です)異動と共に昇任もしたことで、経理など管理事務が増えたので、現在進行形で覚えている所です。

●洛南寮(救護施設) ➡ ●心身障害者福祉センター ➡ ●東山母子生活支援施設

Q2
これまでの施設の経験が活かしたエピソードはありますか？

救護施設で働いていた時に、先輩職員から「救護施設は福祉について多くの事を学べる」と助言を頂きました。実際救護施設には、生活保護、身体(視覚・聴覚なども)・知的・精神の障害、高齢者など様々な利用者さんがいらっしゃいます。心身障害者福祉センターへの異動では主に介助の経験が活かしましたし、東山母子生活支援施設では、精神疾患の方への対応や声かけ等に活かしています。
現在の職場で苦勞無く取り組めているのは洛南寮・心身障害者福祉センターでの経験、先輩職員からの助言があったからだと思っています。

(現在：東山母子生活支援施設)



参事 少年支援員
柳橋 励樹

(現在：こども発達支援センター) **Q1**

人事異動を経験してどんな力がついたと思いますか？

入社してから主に障害児支援(児童発達)領域で仕事をさせていただき、子どもたちの成長を支援していく中で、発達過程や特性への配慮・家族も含めたサポート等、今の福祉感覚の基礎となる部分を教えて頂きました。
また法人事務局では、様々な企画の中で、特に事業所の新規開設等を経験し、社会福祉関連法や制度、行政施策についての知識が必要と感じ、それらの知識を深めました。
さらに、異動と共に昇任の機会もいただき、慣れない中ではありましたが職員の育成やチームづくりのために対策を練り、異動しても文化として残り続ける仕組みを考え、組織形成を意識して働かせていただきました。

●桃山学園(支援課) ➡ ●こども発達支援センター ➡ ●本部事務局 ➡ ●桃山学園(支援課) ➡ ●こども発達支援センター



課長 保育士
青木 貴志

Q2
これから先のビジョン・やってみたいことは何ですか

実のところ、「来年度は〇〇をやりたい!」と数年経ってやっと自分のカラーを發揮しようと思う時に突然、異動の声がかかります。15年で4回経験した私は思う、異動とはそういうものです。
今思えば、「相談支援業務がしたい」という想いで入社し、現在、相談支援業務につかせていただいています。目の前の相談ケースについて、個々の問題として捉えて関わるのではなく、その人が生活している地域の課題として受け止め、行政と連携して地域の支援体制づくりをしていきたいと思っています。

Q1
これまでの施設の経験が活かしたエピソードはありますか？

こども発達支援センターでは、個別支援計画書の作成時子どもの現在の発達段階を見極めて、段階を踏んで成長できるように目標を設定します。洛南寮でも対象者年齢は違いますが、同様に段階を想定して作成するようにしています。一方、本部事務局では、すべての施設に発信していくことを学ぶとともに、施設では経験できない研修や職員採用の業務に携わりました。ふれあいも作成しましたし。(笑)これらはほんの一例です。現在も、洛南寮の支援時に、他施設で経験したことがたくさん活かされていることを実感しています。

●心身障害者福祉センター ➡ ●桃山学園(支援課) ➡ ●視力障害者福祉センター ➡ ●本部事務局 ➡ ●こども発達支援センター ➡ ●洛南寮(救護施設)

Q2
人事異動を経験してどのような力がついたと思いますか？

入社以来、現在の洛南寮で6施設目のキャリアとなります。いろいろな施設を経験する事で気づきが増え、視野が広がったかなと思います。全ての施設で順風満帆と言うわけではなく、事務職員から支援員に異動した際の大変さなど大きな変化の中で、ここは自分に向いていないな、しんどいなと思ったこともあります。それでも自分が知らないことを経験できたことはプラスだったと思いますし、今の職場で生かしているの、人事異動を経験して良かったと思っています。

(現在：洛南寮救護施設)



主任 生活支援員
田畑 友香

4年ぶり! 5/20(土) 法人独自の就職説明会

「京都府社会福祉事業団2023就職説明会」を開催

「求職者もキナナル」
キャリア形成

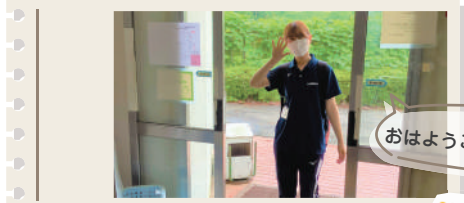
去る5月20日(土)にQUESTION(京都市：河原町御池)にて、法人独自の就職説明会を開催しました。7月21日の採用試験に向けて入職希望者の方々にPRを行いました。特に多かった質問が「異動は大変ですか?」「どうやって仕事を覚えましたか」等のキャリア形成に関する質問でした。異動しても安心してキャリアを形成してもらえることを説明いたしました。



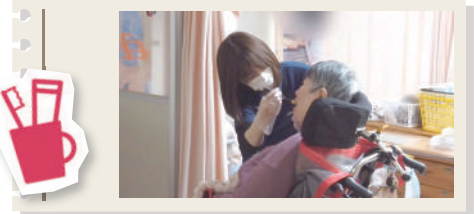
📢 キャリア形成の第一歩！新規採用職員の日

今年入職した1年目の職員の1日を見てみましょう。今回は心身障害者福祉センターに配属された3人にスポットを当てました！

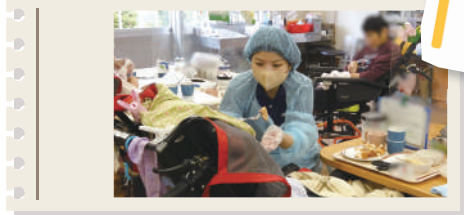
8:30 出勤



9:10 引継ぎ後、利用者対応



11:45 昼食介助



13:00 休憩



13:45 午後のお茶出し



15:00 利用者対応



17:00 記録記入



17:30 退勤



📢 新規採用職員の声を紹介

- ① 今までで印象に残っているエピソードはありますか
- ② 入職前と比べて今の施設に対する印象は変わりましたか。
- ③ 「これを頑張りたい!」という目標はありますか。



桃山学園
松本 児童支援員

- ① 子どもと関わる際、何かを伝えようとしているけど、何を伝えようとしているかわからないことがよくありました。ですが日々の積み重ねにより段々わかるようになってきて、少しずつですが成長できているのかなと思いました!
- ② "障害児"と聞いて、障がい重度の子どもが生活をする施設だと思っていましたが、軽度の子どもも多くて、より幅広く柔軟な支援が必要だと思いました。その点で少し印象は変わりました。
- ③ 自分の趣味特技を活かしながら、子どもたちが楽しい日々を送れるよう考えながら支援していきたいです。

- ① 月2回スポーツレクリエーションがあり、ゲーム中にうまくいかなかった時には励まし合い、チームの仲が深まり勝つことができた時には利用者と一緒に喜びを分かちあえたことが嬉しく、楽しかったです。
- ② 入職する前は不安なことが多かったですが、しかし、実際に働いてみると、職員の方は優しく、働きやすい職場で、利用者の方も笑顔で優しく声をかけてくださる方が多く、嬉しい気持ちで働くことができています。
- ③ 担当利用者に私が担当でよかったと思ってもらえるように、日々のコミュニケーションや接し方を大切に頑張っていきたいです。



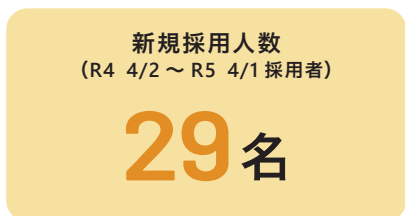
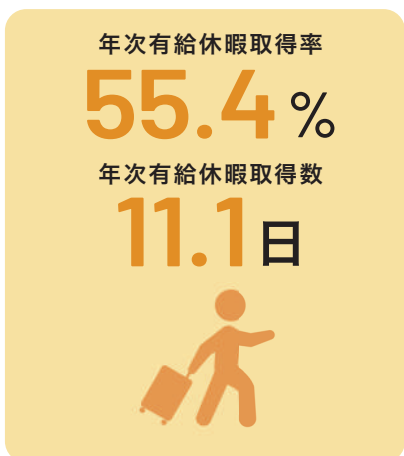
洛南寮(救護)
大村 生活支援員



こども発達支援センター
山本 作業療法士

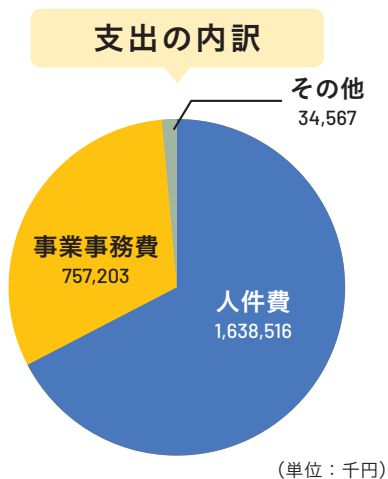
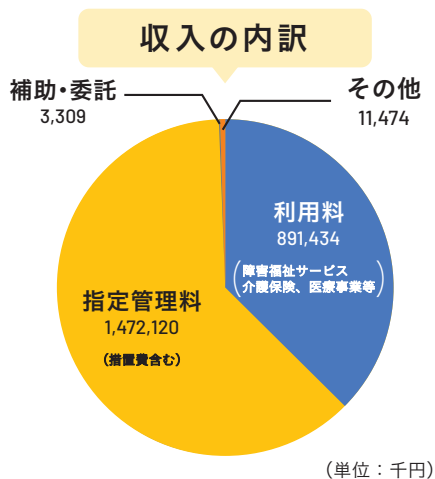
- ① 大学時代の実習がこども発達支援センターだったので、その時に会ったお母さんが入職後に「実習に来られていましたよね。先生になられたのですね。」と声をかけてもらったことです。短い実習の期間だったので覚えてもらったことがとても嬉しかったです!
- ② 実習中に感じたとおりの働きやすい雰囲気と子供たちの笑顔に毎日元気をもらっています。
- ③ 何年後かに関わった方達から笑顔で声をかけてもらえるようなセラピストになりたいです!子供達と共に私も成長をしていきたいと思っています。

令和4年度事業報告・決算 数字で見るKSJ



決算報告

令和4年度収支内訳



令和4年度は、法人設立45年を迎えて、改めて法人としての役割や使命について再確認し、京都府社会福祉事業団でなければならないことは何かを追求した一年であったように思います。さまざまに取り組んだ内容は、ホームページに事業報告・決算書を公開しておりますので、是非、ご覧ください。



こちらからどうぞ



事業団各施設の 入所・利用方法の違い まとめてみた！

さまざまな種別の施設
を運営していることが、
入所や利用方法の違い
からもわかりますね。

契約

利用者自身が福祉サービスが必要と
判断した場合の入所

まずは ▶ 相談事業所への相談から

心身障害者福祉センター

- ▶ 障害者支援施設（施設入所支援 / 就労移行支援）
- ▶ 生活訓練事業所ひまわり ▶ 相談支援事業所 TOMO

こども発達支援センター

- ▶ 児童発達支援センター ▶ 放課後等デイサービス

桃山学園

- ▶ 障害児入所施設（契約）

視力障害者福祉センター

- ▶ 障害者支援施設（施設入所支援 / 就労移行支援）
- 契約する前に試験を行います

措置

行政が利用者に福祉サービスが必要と
判断した場合の入所

まずは ▶ 福祉事務所・児童相談所への相談から

洛南寮

- ▶ 養護老人ホーム
(要介護者は介護保険利用も可)

洛南寮

- ▶ 救護施設

東山母子生活支援施設

- ▶ 母子生活支援施設

桃山学園

- ▶ 障害児入所施設（措置）

桃山学園

- ▶ 児童養護施設

その他

契約は不要
予約や空き状況を確認して利用可能

心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院

こども発達支援センター

- ▶ 診療所

心身障害者福祉センター体育館

発達障害者支援センター はばたき

同じ入所の施設でも
方法は違うんだね！



KSJ 掲示版

無料
オープンキャンパス

視力障害者福祉センター 秋の体験見学会

参加申込み受付中
(10月16日締め切り)

10月23日(月)
10:00 ~ 15:00

- 施設紹介・案内
- 昼食
- 体験コーナー
(あん摩・はり実習体験他)
- 個別相談
令和6年4月～入学希望の方対象

お問合せ先: 075-722-8203

RECRUIT

京都の医療・福祉を支える仕事に
チャレンジしませんか。

正規職員

【募集職種】

- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・言語聴覚士
- ・心理担当職員

【勤務地】

- 心身障害者福祉センター
附属リハビリテーション病院
- こども発達支援センター

エントリー受付中
(9月13日締め切り)



嘱託職員

【募集職種】

- ・生活支援員
- ・看護師
- ・相談員 など

【勤務地】

- 洛南寮
(養護老人ホーム / 救護施設)
- 桃山学園 (障害児入所施設)
- 発達障害者支援センター など

詳細はこちらから
ご確認ください

